

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	年に2回消防署や地域の方も参加し防災訓練を行なっているが、更に安全を確保する事を考える必要がある。	災害時に利用者が安全に避難できる方法を、定期的に訓練し全職員が身につける。	全体の避難訓練(年2回)の他にも、GH全体会議やユニット会議において、定期的に図上訓練やイメージトレーニングを行なう。	12ヶ月
2	36	利用者一人ひとりの尊厳を大切にしたい取り組みを課題とし実践してきた。更に接遇力の向上を目指し、継続していく必要がある。	人としての尊厳を大切に、言葉遣いや態度が丁寧になる。	GHの全体会議やユニット会議において、定期的にチェックリストを活用し振り返る。家族アンケートを実施する。	12ヶ月
3	44	科学的介護(根拠のある介護)の実践にあたり、食事・水分・排便・運動が生活の基本であり、便秘解消にもなる事を学ぶ必要がある。(41、43含む)	事業所全体で科学的介護の実践に取り組むため、委員会、係会に参加し、生活の基本の他、専門知識を習得する。	自立支援実践委員会と食事(水分)・排泄・運動の各係会に参加し、学んだ事を実践に活かす。毎日食事量・水分量を把握し、個人にあった必要量に近づける。便秘予防の対策を、より個別的にすすめる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。